

白鳥

～夢に向かって、気づき・考え・行動する 児童の育成～

令和6年 1月11日

文責 富永 和重

3学期の学習 スタート

3学期の学習が始まりました。早く学校のリズムに慣れ、授業に集中して取り組めるよう、職員も授業をひと工夫し、子供たちの興味をひくように頑張っています。



1月の生活のめあて あいさつ+1 に取り組もう

始業式の日の朝、素晴らしい子供たちがいました。

校門のところで子供たちを迎えていると、「おはようございます」の挨拶だけでなく、「今年もよろしくお願いします」と言ってくる子が複数いたのです。驚きました。きっとご家庭でのご指導があったのだろうと思います。感心するとともに、とても温かな気持ちになりました。

その日の始業式の時、今月の担当の細木先生の方から生活のめあて「あいさつ+1に取り組もう」についてお話がありました。「相手より先に」「大きな声で」「笑顔で」など、いつもの挨拶に何か1つプラスして「あいさつの鉄人」を目指しましょうと子供たちに呼びかけられました。

それを受けて、次の日の朝。

「先に」「遠くから」「大きな声で」「笑顔で」挨拶をしに来る子供がぐんと増えました。3学期のスタートとして、とても嬉しい子供たちの姿でした。

もちろん個人差はありますが、気持ちの良い挨拶ができるよう今後も指導をしていきたいと思います。

また、寒い中、いつも子供たちを見守ってくださる地域の方々、本当にありがとうございます。



当たり前だけど 素晴らしい

運動場の北の端に花壇があります。ボランティア委員会やPTAの方々が生きてくださった花がとてもきれいに咲いています。花があるっていいですね。そんな花壇の花を見ていて、ふと思いました。

「花壇に踏まれた跡がない」

これだけたくさんの方がいるので、誤って踏んでしまうこともありそうです。しかし、すべての花が元気に花を咲かせています。当たり前ですが、とても素晴らしいことです。きっと、「お花を踏まないように気をつけよう」という一人ひとりの心掛けがあり、この状態が保たれているのでしょう。美しい心が育っているんだと感じます。

当たり前のことだけど、もっと子供たちを褒めていいなと感じたところでした。